

保育 おおさか

平成16年12月1日 第352号

大阪府社会福祉協議会・保育部会

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426



今こそ

一筋の道

瑞宝双光章

園田 二
(とりかい保育園)

瑞宝単光章

武内 茂子
(旭ヶ丘学園)

園田 二さん



武内茂子さん

秋の叙勲

安定経営に給与表

3回に分けて研修始まる

「安定した保育園経営を実現する給与表作成の進め方研修」は、11月16日(火)大阪社会福祉研修センター、保育部会共催で、経営コンサルタントの高橋勝彦氏を講師に迎え開催した。

この研修会は3回に分けて行われ、①「保育園経営の改善に直結する、給与システムの整備」②「給与表



講師の高橋勝彦さん

③まで行った。

最初に森田副部会長の「民間社会福祉施設従事職員給与改善費について」の話から研修会が始まった。

参加者は200人近くで給与表の作成に対する関心の高さがうかがえた。

今回の研修は各施設で独自の給与表を作成する手助けをするためのもの。公務員給与俸給表から脱皮し、各保育園が施設に合った独自の給与表を作成し、職員・利用者の満足度を向上させ選ばれる保育園になっていくためにはどうすればいいのか、ということを考えていくためのもの。

(ゆりかご保育園 Y・M)

厚生労働大臣表彰

・野村 光恵(船橋保育所)

全社協会長表彰〈功労〉

・山元 護(大冠保育園)
・上村サト子(下田部保育園)
・濱田 晋(智鳥保育園)
・小林 達夫(久宝まぶね保育園)
・吉岡 重雄(やまゆり保育園)
・山本 克美(高屋保育園)
・池尾 弘久(くさべ保育園)
・川崎 孝(貝塚中央保育園)

全社協会長表彰〈永年勤続〉

・池田 温子(摂津さつき保育園)
・鷺尾 一枝(ひむろこだま保育園)
・塩川美智子(天の川保育園)
・飯田 昌幸(マーヤ保育園)
・原田 博子(マーヤ保育園)
・八木 裕子(マーヤ保育園)

・佐々木千恵(みよし保育園)
・石橋千代子(累徳学園)
・嶋崎由美子(高鷺保育園)
・益 あや子(いづみ保育園)
・武田 三恵(大仙保育園)
・射手矢キミエ(あおい保育園)
・森 宇多子(藤保育園)
・澤永智恵美(杉乃木保育園)

全保協会長表彰

・城村千賀子(たんぽぽ安威保育園)
・岩橋美恵子(明善保育園)
・池尾 弘久(くさべ保育園)
・西岡 繁子(東大阪ヒマワリ保育園)
・辻 久美子(池尻保育園)
・寺田加代子(この花保育園)
・濱田 智(智鳥保育園)
・赤塚 容子(葛城保育園)
・堀川 光子(旭ヶ丘学園)



十月は、台風や運動会でも忙しいので今月は、日和も良くゆつ

くりと、過ごせるかと思っ
ていましたが、なんのなん
のやっぱり今月も研修や遠
足で忙しく、あつという間
に月日が過ぎ、今年もあと
僅かになってしまいました。

まずは、「安定した保育園経営を実現する給与表作成の進め方研修」でこれからの給与のあり方や人事考課による経験給や能力給のたて方を学んでとても面白かったです。何故かという

と園に入った頃から考えていたことなのでそのシステムが実現できると思うと楽しみです。

次の週には、母校の幼稚園の研修で全人教育を主体とした「自発的な遊び」に参加しました。いきいきとした子どもの姿が目には焼きつき、最後は、とても美しい歌で終わりました。そして、今日は遠足でミカ

(S・S)

「変革踏まえた保育」に集う

群馬で全国保育研究大会

第48回全国保育研究大会が、11月10日（水）～12日（金）の3日間、群馬県前橋市と伊香保町で、全国から約2千人の保育関係者が集い開催された。今年も「ともに育む子どもの笑顔―変革の時代の保育を考える―」をメインテーマに、講義、研究発表が展開された。

オープニング

ぐんまアリーナで行われた全体会は、海外公演も



伝統文化をつたえる「桐生八木節」

こなつているとい桐生八木節連絡協議会による「桐生八木節」で幕を開けた。歌詞には、群馬県の名所などが盛り込まれており、その力強い太鼓と歌声、美しい踊りには、伝統文化の重みと奥ゆかしさを感じられた。

開会式

開会式は、群馬県保育協議会の長谷川昭雄会長の挨拶に始まり、児童憲章朗読・物故者への黙とうの後、全国保育協議会の佐藤信治会長と全国社会福祉協議会の松尾武昌常務理事が主催者を代表し挨拶。その後、全国保育協議会からの感謝状・表彰状の授与式が行われ、大阪府からは9人が受賞。引き続き、群馬県の小寺弘之知事、前橋市高木政夫市長、伊香保町関口俊二町長などから来賓祝辞をいただいた。

行政説明



厚労省 尾崎春樹保育課長

行政説明として厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課の尾崎春樹課長から、「最近の保育をめぐる動向」と題して、出生率が1.29でピークの半分以上であることや、今後の少子化対策への取り組みに始まり、保育をめぐる状況として、総合施設についての説明、三位一体改革についての動向や、公立保育園を一般財源化した後の影響など、今一番ホットな情報で、参加者は熱心に聞き入っていた。

緊急アピール

その後、当初の予定を変更し、緊急報告として、全国保育協議会小川益丸副会長が、三位一体改革など、最近の規制改革の動きに対する協議会としての意見報告をされ、地域や社会全体で子どもを育てていくことについて、これから果たすべき保育園の役割を見つめなおすべきだと述べられた。

また、それをうけて、子どもが健やかに育ち、子育てに安心と喜びを持つことができる社会づくりに向け、広く社会全体で子育てを支えていくことの必要性を述べた、次世代育成支援の推進に向けた緊急アピールについての提案が引きつづき小川副会長からあり、採択された。

記念講演



俵 萌子さん

記念講演は評論家・作家の俵萌子さんが、「今日が「一番若い」と題し、講演された。

「分科会」が10課題のテーマに分かれて行われた。第1分科会では「保護者の多様なニーズにこたえていくために（さまざまな保育事業の展開にあたって）」と題して、3人の意見発表者が、保護者や地域の多様なニーズにこたえていくため、自分の施設で取り組んでいること（特別保育事業・延長保育・休日保育・待機児童の解消など）や地域の関係機関との連携のもとで対応していること、事業実施に向けて地方自治体とどのような話し合いが必要か、などを発表された。

最終日

最終日は、多方面で活躍されている講師を招き、総合施設や次世代育成支援についてなど、7つのプログラムに分かれて講義が行われた。その後、各会場ごとに閉会式があり、全日程を終了した。

（玉川橋保育園 M・K）

2日目

2日目は、会場を伊香保町に移して「分科会・特別

老朽改築を終えて

泉佐野市
杉の子保育園



平成15年に創立30周年を迎えるにあたり、老朽化が進み、建て増しなども行っていたため死角も多く、子どもたちの安全確保のためにも、また、待機児童解消、地域の子育て支援のために、長年親しんできた園舎の建て替えを決意しました。

設計に当たっては、運動会、発表会なども自園舎で行えること、地域の子育て支援はもちろん一時保育が実施できるスペースの確保、子どもたちの安全のため出るだけ死角をなくすこと、トイレや調理室は乾式にすることで衛生面にも注意を



うに設計を心がけました。また、内部は木を多く使い、明るく、温かみのある保育室となるようにと色使いに注意を払いました。

建築に関しては、大阪府との協議の際の助言もあり、隣接する運送会社の土地を建築の時に通行させていただけのように交渉し、計画を変更したことで仮園舎の建築をしないですみました。

このことで、建築費用を減らすことが出来ただけでなく、旧園舎で通常の保育、園行事も行うことが出来ました。

また、子どもたちが園庭からいつでも工事の様子が見られるようにと、建築現場の壁の一部を透明な板に替えてもらい、その窓から建築現場を子どもたちと一緒にのぞき、新しい園舎の完成を心待ちにしています。

■わたしは落語が大好きで、今でも月に一回以上は落語会に顔をだしています。

また、自分でも二か月に一度ずつ「りんご寄席」という落語会を主催して、以前にも書きましたように「あやしや小丸」の芸名で前座まで勤めています。

ちなみに、この会は會員の老齡化に伴う胃袋の縮小のため十年で解散となりましたが、その機関紙の創刊号（1985）が本棚のスキから発見されましたので、その設立趣意書を引用してみたいと思います。

■食生活の歴史は、すなわ

交流に付随して、新しい素材、新しい料理法の紹介などがなされ、食生活は一段と豊かで潤いのあるものになりました。

これは、かのサヴァランの言によれば、新しい天体の発見に優るものであり、まさに世界平和の恩恵と言

プーンの使用など、食文化を墮落退廃させる動きのあることは、まことに憂うべき事態であると申さねばなりません。

そこで我々は、自らの舌と胃袋とを通して、この偉大な食文化を護り、その向上に貢献することを目的に

エサは空腹を満たし、栄養を補給するだけです。食事はそれ以外に、目や耳や舌など人間の五感に訴え、食べる人の心を豊かにし、仲間同士のコミュニケーションをうながす、いわば総合芸術なのです。

園舎が完成し、喜びに満ちた子どもたちと新しい園舎で卒園式、入園式を行うことが出来ました。

今後、新たな気持ちで職員一同、この素晴らしい園舎に負けないように保育に従事していきたいと思ひます。

でも、痴呆の始まりだしたこのトシでは落語は覚えられず、落語らしい漫談でお茶を濁しているのですが、そのネタを考えるのが、この原稿を書く以上に苦勞している始末です。

ち人類の歴史であると言つても過言ではありません。

わねばなりません。

「ぐるぐる」を設立しようとするものであります。

題を引き起こすばかりではなく、精神的にも対人的に

で、もう何十年も、食べた店の名前を手帳に記入して、後日の参考にしていますし、自分でもおいしいものを食べる会を作り、グルメとグルマンにちなんで「ぐるま

文明の発達、民族の発展に伴い、その調理法、食事作法も洗練され、多くの国における宮廷料理に代表されるごとく、それらは一国の文化、芸術の象徴にまで

■精神科医として、自己診断すれば躁病の疑いが十分にある文章ですが、少なくとも「食は文化である」との主張は決して間違っていないと思うのです。

も、また文化的にも大きな損失を招くことになるハズです。

そこで、次回から「食育」の話をしたいと思いたすので、よろしく。

食は文化だ

落語医者の保育うだうだ話

ぐる」と名付け、その機関紙まで発行していました。

高められました。 インスタント食品の氾濫、
また近代、世界各国の 学校給食における先割れ

そうなんです。食は文化
なのです。食事とエサは違

(英)

保育部会 常任委員会 報告

平成16年11月8日(火) 10:30~12:00

- 中央情勢について
- 三位一体改革を考える保育園決起集会の報告について
- 「新潟県中越地震」による社会福祉施設等に対する支援について
- その他

ブロックだより

リフレッシュ

明日の保育の活力に

泉州ブロック 保育士研修会

泉州ブロック 保育士研修会

(オルゴール館) に行きました。

車窓から六甲山の景色を展望し、気持ちを整えてオルゴールミュージアムに到着しました。

各時代、各国の暮らしの中で使われた、自動演奏楽器が多数収蔵され、コンサートを聴くことができ、ゆつたりとした時を楽しむことができました。古いものは時代を感じる深い音色があり、新しいものには、それを広く伝えていくための



めて実感しました。その後、楽しみにしていた六甲山ホテルで昼食をとり、午後から布引ハーブ園を散策しました。全身に感じる爽やかな香りに思わず大きく深呼吸し、これから新たな気持ちで子どもたちと接し、保育の活力にしていけるよう頑張りたいと思います。(すいせん保育園 Y・K)

保育園をたずねて

322

堺市

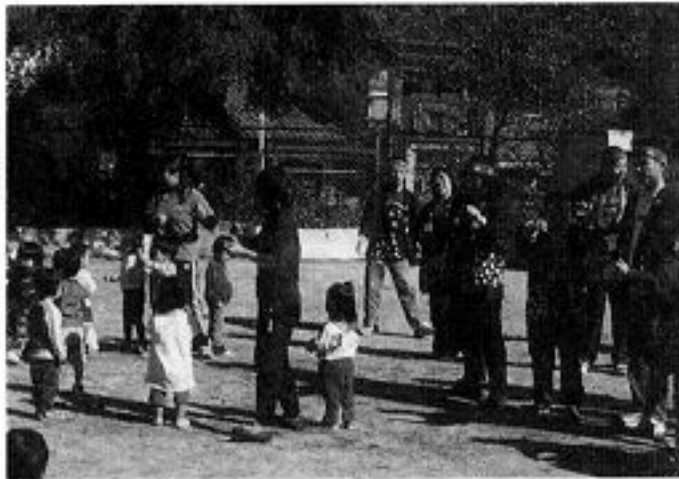
麦の子保育園

されている。

園内は家庭的で園児たちは友だちと元氣よく遊んでいて、楽しそうだった。

東部障害者作業所と定期的に交流し、ともに遊び、豊かな心を育てる保育に取り組んでおられた。

隣地に園舎を増築中で、17年度途中から全年齢対象の保育園となり、地域住民の期待がますます高くなっていると感じました。



作業所との交流も

ほっと…安心 ほっと…ひといき ほっと…あつたか

—北摂ブロック—

大阪府保育部会の副会長長および保育士会会長で、全国保育士会の会長も務めておられる吹田市旭ヶ丘学園主任保育士、武内茂子さんが、このほど秋の叙勲、瑞宝章を受章された。この勲章受章は、保育界はもとより、養護と教育に関わるあらゆる方面にわたって、多くの功績を残してこられたことに対しての高い評価だ。



いま、我々保育界は多くの課題、難題を抱えている。全国レベルでいえば、全国保育協議会を中心に、日本保育協会等の組織と連携して課題に取り組むことが必要だと思う。保育現場が抱える課題など細部に及ぶ事柄から、制度改革まで幅広く把握されている武内さんの存在は、我々にとって心強く感じられる。これからも健康にご留意いただき、ご活躍を期待したい。

しの中で、ほっと…あつたか“ロケーション抜群、それだけで“ひといき”つける場所でした。ベビーカーを押した親子連れも“安心”して集まりました。チラシやポスターの展示の効果が、300組ほどの参加者があった。オープニング「幸せな

ら手をたたこう」の歌から始まり、親子で手をたたき、足を踏み鳴らし…担当保育士が参加者たちをどんどん引き込んでいく。さすが、専門職！手遊び、ふれあい遊び、着ぐるみによる出し物などがあり、盛りだくさんのメニューで参加した親子はどの顔も満足されていました。

(摂津さつき保育園 M・H)



発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部会
TEL 6762-9001
発行人 土勝
高岡 集人
水崎